



小野中学校だより
第 5 号
文責：校長 大河原久宗
2019. 5 8 . WED

TEL:72-3355 FAX:72-2829

<教育目標>

- 【夢～自立・友愛・健康】
- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
 - ・互いのよさを認め、高めあう生徒
 - ・健康で、心身を鍛える生徒

101%に挑戦する面白さ！

10連休が終わり、令和元年度が始まりました。子どもたちはこの10連休も部活動に汗を流しました。様々な大会や練習会があり、保護者の皆様には各会場で応援を頂きありがとうございました。

さて、来週の15日（水）には田村支部中体連陸上競技大会が、5月下旬の29日（水）・30日（木）には田村支部中体連総合大会が開催されます。子どもたちは支部大会を勝ち抜き県中地区大会や県大会、東北・全国大会を目指して、プラス1の心で日々練習を頑張っています。3年生にとっては、最後の大会になりますので、昨年度も紹介しましたが、**柔道家 古賀 稔彦** さんの言葉を紹介します。



**自分はこんな程度だ、とあきらめないで欲しい
101%の努力が新しい自分の「発見」につながるんです**



○ 101%に挑戦する面白さ

目標に挑む過程というのは、自分に対する挑戦の連続です。その挑戦を続ける中で、自分に挑戦することの楽しさというものを、どこかで知る時がくる。

練習をやっていて、もうダメだということまで、自分の力の限界まで追い込んだとする。その時、普通だったら休みたいと思う。だけど、そこまで自分を追い込んだ時に、次に何を考えるかといったら、もうちょっと頑張ったらどうなるんだろうということ。つまり100%自分を出し切ったからこそ、101%の自分を見たくなる気持ちが出てくる。そこで疲れたと思ってやめてしまえば、それまでで終わり。だけれども、もうひと踏ん張りすることで、結果が大きく変わることもある。

もちろん変わらないこともあるでしょうが、その101%に挑戦するということによって、翌日はその101%がいつの間にか自分にとっての100%に変わっている。そうしたら翌日には、また101%の自分を目指すようになる。それを繰り返すことで、前の日より確実に進歩していくという結果につながる。

それが本当の自分自身につく実力であって、自分の知らなかった新しい自分がそこに生まれる。

○ 目標を持って新しい自分発見を

目標を持つことによって、自分自身に挑戦できる。挑戦できるからこそ、新しい自分が発見できる。発見できた時の喜びがあるからこそ、次の目標に向かって頑張っていける。目標を達成したら満足感はあるし、達成できなかったとしても、挑戦してきた過程で得るものはたくさんある。それから、今度こそ絶対目標を達成してやろうという気持ちで次からも頑張れる。どんな世界でも、目標を持つすばらしさを知ることによって、気持ちも身体も成長していける。

最近の若い人の中には、打ち込むものが見つからないという人もいる。自分が自分自身について知っているのは、ほんのわずかしかない。自分があきらめずに一生懸命、夢に向かって努力することによって、自分の持っていた才能が引き出され、新しい自分が必ず生まれてくるし、それを実感できる。ただ自分が知らなかっただけの、違う自分を自分自身で見つけることができる。

これが、人間のものすごい魅力だと思っている。目標を持ってない。自分に自信がないと言っている若い人たちには、今、知っている自分じゃない自分があること、挑戦を繰り返すことで新しい自分を発見できる楽しさがあることを知ってもらいたい。



※ 10連休に行われた各種大会での様子です。男女バレーボール部は11日(土)の大会で応援に行きま
す。

● 野球部(三春ロータリークラブ杯優勝<三春球場>)



● ソフトボール部(田村地区ソフトボール大会<船引運動場>)



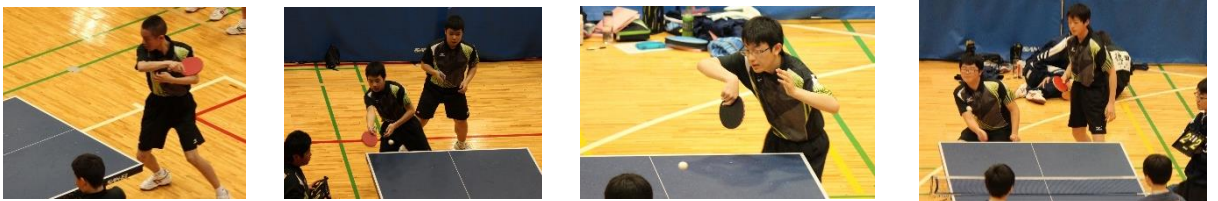
● サッカー部(県中リーグサッカー大会<小野中グラウンド>)



● ソフトテニス部(田村地方中学3年生ソフトテニス大会<夕陽丘テニスコート>)



● 卓球部(田村市長杯卓球大会<田村市総合体育館>)



● 剣道部(田村支部剣道錬成会<滝根体育館>)



● 柔道部(東北柔道錬成会<郡山西部第二体育館>)



● 特設陸上部(県中県南陸上記録会<開成山陸上競技場>)

